

交流と魅力発信の拠点「あおみな」

喜びと期待

「あおみな」のオープン、市内の一次産業、主に農漁業に励む人の数の増加につながることを目的としていますが、やはり一番の効果が期待されるのは「宮戸地区の交流人口、観光客の増加」です。ここでは新施設に関わる3人の方々の思いや喜び、期待の声を紹介します。

親子で親しむにぎわいの場に



宮戸コミュニティ推進協議会

おがたまさ宮か
尾形 将親会長 (76)

これからは宮戸地区に興味を持ってもらえるような仕掛けづくりに取り組んでいきたいですね。

「あおみな」にはカキ焼きの設備や足湯などもあり、家族で楽しめるスペースが充実しています。開放的な空間に広がる安らぎのひと時を多くの観光客のみなさんに味わってほしいですね。

宮戸地区のにぎわい作りにおいて「観光復興」は必須事項です。まずは観光客のみなさんに足を運んでもらえるようなイベントをどんどん開催し、市内外の人たちに「宮戸の今」を知ってもらうことが必要だと思います。

東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた宮戸地区。あれから6年の月日が経過しましたが、地域のコミュニティをどう維持するか、観光業をどう復興させるか、交流人口増加に向けてどのような方策があるのか、住民同士で話し合い、試行錯誤しながら少しずつ前に進んできた日々でした。今回完成した復興再生多目的施設「あおみな」は、協議会としても、地域ににぎわいを取り戻す起爆剤になるものと楽しみにしているところです。

プレハブでの運営を強いられてきた宮戸市民センターや奥松島観光案内所ですが「あおみな」に集約されることで、より充実した活動が展開できると期待しています。

“外からの目”活かし地域活性へ

私に関しては「よそ者」の視点を大切にしながら、地域のみなさんとアイデアを出し合い、魅力発信に努めていきたいです。せっかく完成した素晴らしい施設です。これをどう生かすかが大切だと思います。外部から訪れた人と地元のみなさんが接点を持つ場所、きっかけ作りの場になればうれしいです。

震災後の平成23年4月に埼玉県新座市から、復興ボランティアとして初めて東松島市を訪れ、がれきの撤去や泥かきなどにたずさわりました。昨年7月に市の地域おこし協力隊に第1号として委嘱され、大浜定置組合、宮戸干拓宮戸生産組合のみなさんの指導のもと、農漁業に従事しています。

東松島市、特に宮戸地区は自然環境がとても豊かで、風光明媚な景観も魅力だと思います。カキやノリなどの特産品はもちろんのこと、その他の魚介類もとても新鮮かつ高品質で、首都圏ではなかなか食べられないものばかりです。地元のみなさんが食卓で日常的に食べているものでも、それは外部から見れば魅力的に映るものです。

整備された「あおみな」には地場産品の直売所なども設けられました。観光客のみなさんに宮戸地区の新鮮な魚介類を発信できる貴重な場になるのではないかと期待をしています。

震災後の平成23年4月に埼玉県新座市から、復興ボランティアとして初めて東松島市を訪れ、がれきの撤去や泥かきなどにたずさわりました。昨年7月に市の地域おこし協力隊に第1号として委嘱され、大浜定置組合、宮戸干拓宮戸生産組合のみなさんの指導のもと、農漁業に従事しています。

地域おこし協力隊

まつい なおと
松井 直人隊員 (42)

宮戸はイートころ満載



奥松島遊覧船

さくらい さとし
櫻井 哲船長 (62)

また宮戸の自慢といえば食味のいいノリがたくさん生産されていること。これらは案内所の売店でもお土産として売っています。市内外のみなさんにぜひ味わってほしいです。

日本三大溪のひとつ「嵯峨溪」が臨める遊覧船の旅は、宮戸島が誇る観光イベントの一つです。切り立った崖や鋭利な岩肌は、太平洋の荒波によって少しずつ削られてきた自然の産物で、見る人に驚きと感動を与えてくれます。四季によって変わった表情を見られるのも特徴で、晩春、初夏に見られるセッコクの花や、鮮やかなヤマザクラ、冬に見られる雪化粧の岩肌もなかなか風流なものです。

震災後の2～3年は、復興支援としての「ふるさと割」などがあり、観光客も一定の数を保っていましたが、ここ2年ほどで減少傾向が強まったように思います。「あおみな」のオープンはこの現状を打破できる有効な手段になると楽しみでなりません。

奥松島遊覧船の案内所は、これまでは乗船場所から若干遠い場所にありました。お客様たちに不便な思いをさせてしまい、心苦しさを感じていましたが、あおみな内に案内所を整備されることで、お客様にご足労をかけずに船まで案内することができ、非常にうれしく思います。

奥松島遊覧船の案内所は、これまでは乗船場所から若干遠い場所にありました。お客様たちに不便な思いをさせてしまい、心苦しさを感じていましたが、あおみな内に案内所を整備されることで、お客様にご足労をかけずに船まで案内することができ、非常にうれしく思います。

■東松島市宮戸市民センター、新規就農者技術習得管理施設、農林水産業体験施設についての問

宮戸コミュニティ推進協議会 ☎86-2177 FAX:86-2178 住所:宮戸字川原5-1 Eメール: miyato@kind.ocn.ne.jp

■地域連携販売力強化施設についての問 株式会社 奥松島公社 ☎88-3997

